

正 誤 表

「看護学テキスト NiCE 老年看護学技術（改訂第 2 版 第 2 刷）」

下記の箇所に関りがありました。謹んでお詫びし訂正いたします。

頁	該当箇所	誤	正
141	本文 上から 6 行目	杖は、健側の upper limb で持つ。 <u>upper limb に異常がない場合は、患側 lower limb 側の upper limb で持つ。</u> 握り方	杖は、健側の upper limb で持つ。 握り方
188	本文 上から 4 行目	図 IV-21	図 IV-23
188	本文 下から 3 行目	図 IV-21b	図 IV-23b
242	本文「2●病態と生理学的特徴」の上から 7～11 行目	<p>(2) 滲出性下痢 細菌やウイルス、寄生虫などが付着したものを経口摂取することでそれらの毒素が腸粘膜に炎症を起し <u>透過性を亢進させ、下痢が起こる。</u> 血液や膿が混じった便がみられる。</p> <p>(3) 分泌性下痢 <u>難治性潰瘍などで消化液の分泌が亢進することで下痢が起こる。</u></p>	<p>(2) 滲出性下痢 細菌やウイルス、寄生虫などによる <u>感染性腸炎や炎症性腸疾患などにより、腸粘膜に炎症が生じて透過性が亢進し、滲出液の増加と水分の吸収低下によって下痢が起こる。</u> 血液や膿が混じった便がみられる。</p> <p>(3) 分泌性下痢 <u>コレラや大腸菌などの細菌の毒素、消化管ホルモンの過剰産生などが原因で消化液の分泌が亢進し下痢が起こる。</u></p>
243	本文 下から 1～2 行目	細菌やウイルスが原因の <u>滲出性下痢</u> の場合など、体内から <u>細菌性毒素</u> を	細菌やウイルスが原因の <u>下痢</u> の場合など、体内から <u>原因微生物や毒素</u> を

2019 年 1 月 16 日

株式会社南江堂